奈良市民だより

No.230

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に息むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は情愛で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

市民のうごき

（7月31日現在）

人口	214,102
男	104,092
女	110,010
世帯数	64,721

ピチピチ元気にラジオ体操（元興寺極楽坊で）

朝の健康譜
ラジオ体操盛況

朝はすがすがしい。6時30分ラジオ体操が始まる。集まった。ピチピチはねる若アユのような子、にこにこ顔のおかあさんやおとうさん、おばあちゃんやおじいちゃんもいる。イチ、ニィ、サン・・・。

早起きのまち奈良。健康なまち奈良。にこやかなまち奈良。みんながはねてるようだ。会場は全市で250を越し、2万5千人以上が参加したという。学校や子ども会、自治会が力を入れて。奈良はすがすがしい。

姉妹都市の盟約結ぶ

郡山（福島）で挙式
奈良の使節団　采女祭に参列

千二百余年の昔、咲く花のにおう奈良朝の盛時から伝えられる葛城王と采女（うねめ）の物語りに結ばれる奈良市と郡山市（福島県）が、そのゆかりの上に築く姉妹都市の盟約式が、八月五日郡山市役所でなごやかに挙げられました。

この日、奈良市の使節団と随員ら十四人は午後一時二十五分国鉄ひばり3号で郡山駅着、午後二時からの盟約式にのぞみました。郡山市側は秀瀬日吉市長以下随員ら十八人が列席、まずことしの"ミスうねめ"佐藤恵子さん（23歳）が慶田奈良市助役、秀瀬郡山市長に花束を贈り、松本奈良市議会副議長、岡部郡山市議会議長の間に、両市議会の姉妹都市提携決議書を交換、鍵田奈良市長署名の盟約書と秀瀬郡山市長署名の盟約書各二部を慶田助役が交換、固い握手を交して姉妹都市のちぎりはなごやかなうちにしっかりと結ばれました。

秀瀬郡山市長は「葛城王は当時の郡山農民の窮状を憂慮され、年貢を三年免除するとともに屋根ガワラの製造技術を普及された。これが今日の産業都市郡山の糸口となり東北一の新産業都市へ発展した。うねめの物語につながる古都奈良と姉妹都市のちぎりを結んだのも決して偶然ではない」とあいさつ、これに対し慶田奈良市助役は「鍵田市長は八月十五日の大文字慰霊祭の精進潔斎に入っているので式に参加できないのは残念だ。大和朝廷の使いの葛城王と郡山出身の采女の縁につながって、今日姉妹の縁結びに至ったことは喜びにたえない。この盟約が形式的なものでなく、精神的なつながりを大切にし、両市の親善を深めてゆきたい」とあいさつを交換しました。

このあと両市代表団の懇談があり、これからの友好関係について話し合い、奈良の一行は、午後四時から郡山市片平町の采女神社で催されたうねめ供養祭に参加、采女に装った佐藤恵子さんと葛城王に装った田山奈良市観光商工課長補佐が花を献じました。

奈良市の使節団はつぎの諸氏でした。

助役慶田八郎、副議長松本三郎、市観光協会副会長松岡太郎、奈良商工会議所専務理事中村貞三、市自治連合会会長橋本万治郎、春日大社宮司三条実春、采女神社奉賛会会長阪本善雄、日赤奉仕団支部委員長今村ハナ、市地域婦人団体連絡協議会会長青木貞子

盟約書を交換する（左）慶田助役と（右）秀瀬郡山市長

奈良市章　郡山市章

奈良・郡山姉妹都市盟約宣言

奈良市と郡山市とは、遠く奈良朝の時代より歴史的な関係を有してきたのであるが、近年葛城王・采女伝説にちなみ両市の観光的交流が活発に行なわれてきている。

このたび両市は、姉妹都市として友好親善関係を樹立するとともに、経済、文化、観光等の交流を図り、もって市民福祉の増進と両市のよりよき繁栄を期することを念願して、姉妹都市盟約を締結することをここに宣言する。

西部公民館は大繁盛
使用申込みは前日まで

地区公民館として県下一という規模をほこる奈良市西部公民館は、全館冷房がゆきとどき、設備が整備されているだけに、学習や体育の練習に全く好適。七月二十三日の完工式以来使用申し込みが殺到して、同館事務室はその割り振りに汗だくです。

西部公民館の使用は、同館が主催する事業と社会教育行政上実施する事業のほか、原則として社会教育団体、地域の公共的団体、生活文化に関する団体などで、"館長が認めたものに限られる"ということになっています。しかし、公民館は別項のような性格を持ち、広く一般市民の生涯教育の場であることから、いろいろな会や行事が考えられ、これらの使用については館長が裁量することになっていますので、使いたいときは同館へご相談ください。

【開館時間】毎月曜日の休館以外は毎日午前十時から午後十時まで。

【使用料】原則として無料。

【使用手続き】使用日の十五日前から前日までに、所定の使用許可申請書を出して、館長の使用許可書をもらうこと。

なお、西部公民館には二階に体育館（千人が入れる舞台。付大ホール兼用）和室（二十九畳敷き、茶室の備えもある）講座室三（各三十人）料理実習室（五十人）のほか図書室、サロンを備えています。

公民館はこんなところです

①公民館は、社会教育の拠点であり、地域の文化センター、成人のための学校です。

②公民館は、みんなの学習の場です。青年学級、婦人学級、家庭教育学級等各種の定期講座を開いたり、映画会、展覧会等を催して、みんなの教養を高めるための学習の場です。

③公民館は、産業発展の拠点

8月～9のおもな行事予定

【料理教室】8月6日（金）から毎金曜日の午後と夜▽同7日（土）から毎土曜日の午後。

【体育行事】8月＝18日第四回スポーツ少年大会（卓球）▽31日リズム体操指導者講習会。

9月＝18・19・21～23日中央スポーツ教室（卓球）▽24日勤労スポーツ青年団卓球大会。

【その他】8月＝3日婦人団体幹部研修会▽5日みそづくり講習会▽11日女性教室▽17日生活学級▽18日ひまわり学級▽20日市立学校校長・教頭研修会▽22日ごくろうさん・早寝早起き推進大会▽25日奈良女子大開放講座▽26日婦人リーダーシップ・セミナー。

9月＝8日女性教室▽10日鶴舞婦人学級▽19日鶴舞むつみ会例会▽22日ひまわり学級▽29日婦人学級リーダー教室。

消費者米価の物統令除外に反対
市議会経済水道委、請願採択へ

奈良市議会経済水道委員会は八月十日開会、去る六月定例市議会で付託された請願「物価統制令から消費者米価を除外することに反対する請願書」を審議し、出席委員全書の賛成でこの請願書を採択することにきめました。請願者の趣旨は、政府が配給米を物価統制令からはずすことを決め、ことし十月ごろから実施しようとしているのに対し、同委員会としては、いま物価統制令から消費者米価を除外することは時期尚早であり、請願の趣旨が妥当であるとの結論を出したものです。

発行＝奈良市役所（奈良市東寺林町38 電話（24）1111番 〒630）毎月1日・15日発行　全戸配布　　印刷＝共同精版印刷株式会社

鉄壁の消防陣へ
千人動員の大訓練

消防法施行記念日の八月一日、奈良市では全消防能力を動員した大がかりな消防総合訓練を実施しました。

訓練範囲は出火想定地点の元林院町を中心に、北は登大路町、東向南町、東は菩提町、南は中新屋町、西は東城戸町におよぶ二十四ヵ町の広範囲で消防の動員数は千人近くになっています。

訓練後勢ぞろいして鍵田市長から講評を受ける消防隊員（奈良公園県庁前広場で）

午前六時三十分、元林院町から出火、あたかも異常乾燥注意報が発令中という想定。付近は防火上の危険街区に当っている。市消防本部は消防職員百十人と市消防団員七百三十人全員召集を同三十五分発令しました。動員した車両はハシゴ車、シュノーケル車、化学消防車、救急車など三十三両、さらに北和都市連合消防の応援を要請して大和郡山、天理両市と生駒町からも応援隊が繰り込んできました。

訓練は消火活動の体制確立と飛火の防止、住民の救助と避難誘導など、大火災に対処する有機的立体活動に重点がおかれました。これとともに、火災地域にとり囲まれた市役所では、局部課長以上全員を非常召集して、すぐに鍵田市長を本部長とする市災害対策本部を設置、市庁舎の消火活動はもちろん市民の救援対策など本格的な訓練を消防と並行して行ないました。

市機構を改革

奈良市では鍵田市長の「咲く花のにおうがごとき新平城京づくり」の施政方針を推進し、市役所の機能をさらに向上させるため、八月三日付でつぎのような機構改革を実施しました。これにともなう人事は、さきに収入役に就任した木山公室長の後任、辞任した植村水道企業管理者（水道局長）の後任補充とともに大幅な異動を行ないました。

◇広報公聴課＝市長公室広報課を改称。

◇電話サービスセンター＝広報公聴課に新設。

◇同和対策室＝民生部社会労働課を「労働課」と改称、同和対策事業推進のため、同和対策室を民生部に新設。住宅地区改良事業を所管する地区改良事務所を新設課の所属とした。

◇道路舗装公社設立準備室＝従来建設局庶務課で財団法人として設立する準備手続きを進めていたのを独立させ、公社設立の手続きを担当する（8月10日付）。

◇保健体育課＝教育委員会事務局の青少年課を廃止し、保健体育課を新設、市民体育の向上をめざす。青少年課の業務は社会教育課の青少年教育係へ大部分を吸収。

×××電話サービス×××スセンター開設へ大童

市の機構改革であらたに市長公室広報公聴課に生まれた電話サービスセンターは、いま電話機器、その他機材の整備、導入をはじめ、杉本所長以下係員の研修に大わらわ、一日も早く業務を始めたいと張り切っています。

このセンターが業務をはじめると、市民みなさんが電話一本で戸籍の謄抄本、付票や住民票の写しなどが請求できることになるしまた各種の問合せや要望、苦情などもこの電話で用が足せ、それらの処理も早くできるようになります。

人事異動
（八月三日付、課長補佐級以上、敬称略）

【局部長級】市長公室長西田栄三（社会福祉事務所長）＝八月二日付▽民生部長堀川善弘（教委総務課長）▽社会福祉事務所長紺家稔（水道局次長）▽水道事業管理者小谷武芳（民生部長）▽水道局次長松谷好美（保険課長）▽同和対策室長事務取扱兼務池田三郎（民生部次長）

【課長級】秘書課長谷奥寿一（市長公室主幹）▽人事課長本田三郎（市民課長）▽財政課長大西芳秋（秘書課長）△文書課長中西康雄（教委青少年課長）▽市民課長冷水良彦（教委社会教育課長）▽保険課長南井嘉幸（財政課長）▽労働課長武田英司（水道局経理課長）▽観光商工課長桐木茂（建設局庶務課長）▽農林課長村井弘昌（農林課長補佐）

＝以下三面へつづく

災害にそなえて
奈良市防災会議
台風の季節です

台風シーズンに入りました。奈良市は自然災害の比較的少ないところといわれています。しかし、過去の災害史をみると、必ずしも手をこまねいて安穏に構えていていいというわけにはまいりません。ことしは、日本向けの台風が多い年といわれ、すでに発生件数は二十一（八月十三日現在）うち19号は九州西部を縦断、西日本各地に大きな被害をもたらしました。油断はなりません。いますぐ、皆さんご家庭の防衛策を考えていただきましょう。

被害の実績

奈良市を襲った台風による最近の被害を拾ってみましょう。

◎昭和三十二年六月に、三日間にわたり梅雨前線による局地性集中豪雨があり、市内西部地区を中心に富雄川で死者一人を出し、床上浸水、田畑の冠水、道路損壊など多数の被害がありました。

昭和三十九年九月の第二室戸台風では死者二人、負傷者五十二人、家屋の全壊百三十三戸、半壊四百四十一戸、被災者千九百五十八人という被害を出し、市の災害では一ばん大きいといわれます。

つづいて昭和四十年九月の台風24号では、岩井川・佐保川が決壊、浸水被害が大きく災害救助法が発動されました。

市に「防災計画」あり

奈良市では、これらの災害から市民の生命、身体および財産を守るため、災害を未然に防止すること、災害が発生した場合には被害の拡大を防ぎ、早く災害の復旧をはかることを柱とした「奈良市地域防災計画」を平素から立ててあります。

この計画は、第二室戸台風級の災害を想定して市の地勢、都市構成、過去に発生した災害の状況など諸条件を勘案し、今後起り得る災害を想定して、これに対処するに必要な事がらを内容として作成したものです。

この計画は市および消防団、県、警察、気象台、奈良財務局、奈良放送局、奈良電話局、日赤、運輸関係者、電気ガス関係者などの協力を得て総合的に実施されます。災害がさらに大規模なものとなると、自衛隊の出動を求め他市町村の応援を得、さらには自治会や婦人団体などに奉仕を願って事態に即応した対策を実施することになっております。

台風とは―こんなもの

台風というのは、赤道以北の太平洋上に発生する熱帯低気圧で、その城内の最大風速が毎秒十七メートル以上のものをいいます。

【風速と被害】

・15メートル＝看板やトタン板が飛ぶ。

・20メートル＝風に向かって歩けない。弱いへいは倒れる。

・25メートル＝屋根ガワラが飛びはじめる。樹木が折れ、家がこわれはじめる。

・30メートル＝雨戸がはずれ、電柱や煙突が倒れはじめる。

・35メートル＝全壊家屋が急にふえる。

・40メートル＝小石が飛び、列車や大型自動車が転覆する。

・45メートル＝鉄塔が倒れる。

・50メートル＝樹木が根こそぎになり、木造家屋のほとんどが倒壊する。

【大和に近づく台風】

毎年、いくつかの台風が本邦付近に来襲するが、そのうち奈良県に近づくのは八月中旬から十月上旬にかけてのものが一ばん多いといわれます。その中でも、過去に大きな災害をもたらしたのは九月下旬がとくに多く、その警戒準備が必要です。

【台風進路と最大風速】

奈良市は海に近い地方のように台風の被害は大きくないが、地形が複雑なため局地的に強風が吹き、その被害は決して小さくありません。台風域内の風速は、中心に近づくにつれて強くなり、中心（台風の目）から半径四〇～五〇キロ付近が最も強く、中心がごく接近したときは風はいったん弱まり、中心が過ぎたあと、風向が変るとともに急に強くなります。

奈良県下にひどい風害を与えた過去の台風経路をみると台風が県内を通過するか、四国の東部をかすめて大阪湾に向う（例―室戸台風）か、紀伊半島に上陸するものが最も危険だということになります。

【台風にともなう大雨】

大雨は洪水、浸水、山くずれ、ガケくずれなどを起す要因となります。

本邦付近に前線が停滞しているとき、台風が近づいてくると、前線が刺激されて大雨を降らし、つづいて台風自体の雨が加わって異常な大雨となります。こんな場合は、たとえ台風そのものが弱くても大雨は油断がなりません。

備えあればうれいなし

【準備】

1、テレビやラジオの台風情報に注意する。

2、家をよく見回って屋根、雨戸などの補強、飛散しやすいものの整理をする。

3、停電にそなえ懐中電灯、ローソク、トランジスターラジオを整備しておく。

4、衣類、救急箱、簡易食糧などをととのえる。

5、貴重品、重要書類は身につけ、老人、子ども、病人らは早目に避難させる。

6、低地などで浸水しやすいところは、タンス、畳などは高所に移し、学用品などの保管に留意する。

7、避難、退避で家を出るときは、火気を完全に消し、電源を切りガスの元センをしめる。

【台風通過後の処置】

1、みだりに避難場所を離れず、当局の指示を待つ。

2、ゆるんだり、垂れ下がった電線には絶対触れない。

3、浸水地は汚物が流出し、伝染病発生のおそれがあるから清潔にし防疫につとめる。

4、準備したり、使ったあとの補強材料は捨てずに、今後にそなえて整理しておく。

5、被害があった時は、できるだけくわしい状況を記録に残し今後の資料に役立てるとともに、当局へ資料として通報する。

市はこんな対策をとる

市では、台風の接近につれて、いつでも被害に対処できるよう、防災計画の中でとくに「台風配備態勢計画」「水防配備態勢計画」をそれぞれ定めております。

気象台から風雨注意報が発表されると、状況によりまず待機配備につき、その後の情報や被害発生とにらみ合わせて「災害対策本部」を設置します。本部長は市長で、市の全職員が本部員となり、各関係機関の協力を得て救助活動など、災害の実情に沿った総合的な対策をつぎつぎに講じていきます。

【避難所の設置】

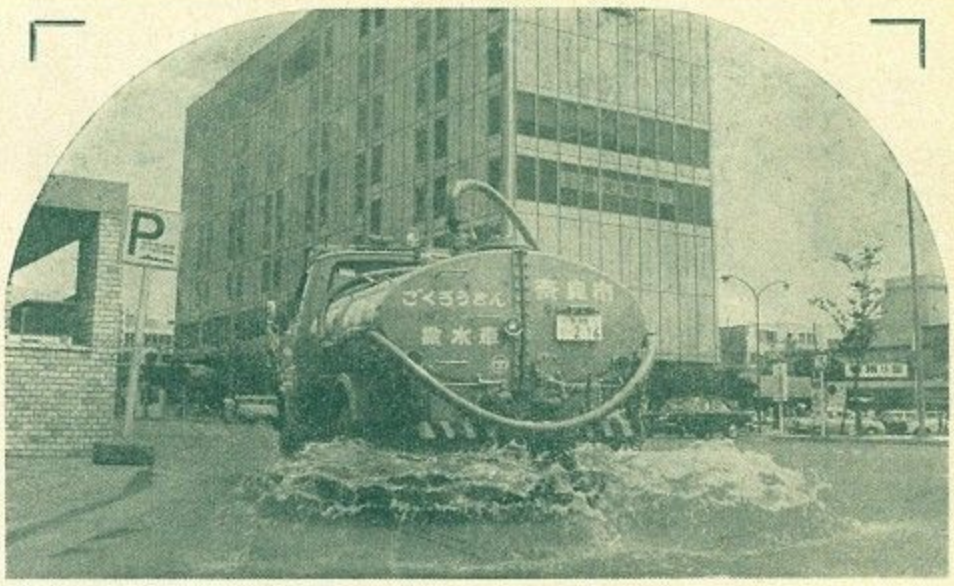
市では、災害が発生するか発生の心配が濃くなってくると、各地区につぎのとおり避難所を設けます。避難所の開設期間は、災害発生の日から七日間以内となっております。

【旧市内】市庁別館（池之町）▽椿井小学校（椿井町）▽飛鳥小学校（地蔵町）▽鼓阪小学校（雑司町）▽東之阪公民館（東之阪町）▽済美小学校（瓦町）▽佐保小学校（法蓮立花町）▽大宮小学校（大宮町）▽一条高等学校（法華寺町）

【南部】大安寺小学校（八幡町）▽東市小学校（古市町）▽明治小学校（北永井町）▽帯解小学校（柴屋町）▽辰市連絡所（西九条町）▽精華小学校（高畑町）

【東部】田原小・中学校（横田町）▽水間小学校（水間町）▽柳生中学校（柳生町）▽旧邑地小学校（邑地町）▽奈高大柳生分校（阪原町）▽大平尾分校（大平尾町）▽大柳生幼稚園（忍辱山町）▽柳生小学校（須川町）▽柳生小学校（柳生下町）

【西部】都跡小学校（尼ケ辻町）▽六条小学校（六条町）▽平城小学校（秋篠町）▽伏見小学校（菅原町）▽伏見中学校（西大寺町）▽あやめ池小学校（あやめ池南二丁目）▽あやめ池公民館（菅原町）▽鶴舞小学校（中山町）▽富雄南小学校（富雄中町）▽富雄北小学校（二名町）▽登美ヶ丘小学校（二名町）▽鳥見小学校（鳥見町）



▲近鉄奈良駅前で活躍する散水車

道をせんだくする 新鋭散水車

夏の街頭にお目見得

奈良市に新鋭の散水清掃車が去る八月三日お目見得しました。バキューム式散水車といい、一台二トンの水を積んでオルゴールで「赤とんぼ」のメロディーを流しながら、時速三十キロでゆうゆうと舗道に水をまいて走るというもの。

一回の散水が幅四・五メートルで三キロの道のり。雨の降らぬ限り、毎朝六時半から夕方五時半まで、市内の主要道路を走って水をまき、ほこりを押えてゆきます。今在家町―紀寺交差点、ドリームランド―八軒町、国鉄奈良駅―教育大学―県庁前―国鉄奈良駅、国鉄奈良駅―春日一の鳥居、西大寺駅前―あやめ池駅前―学園前駅前のコースを各往復して一日の走行距離四十四キロ。ことしは十月三十一日（西部地区は九月三十日）まで続ける予定です。

これで〝ほこりっぽい〟と評判の悪かった奈良の道すじがきれいに洗われて、さきに第一線に出たスイーパー車（真空吸込み式道路清掃車）の活躍とともに、国際文化観光都市として清潔な町が維持できようというもの。さらにもう一台購入する予定です。

二学期から新校舎で

鶴舞西小学校の新築できる

新築なった鶴舞西校

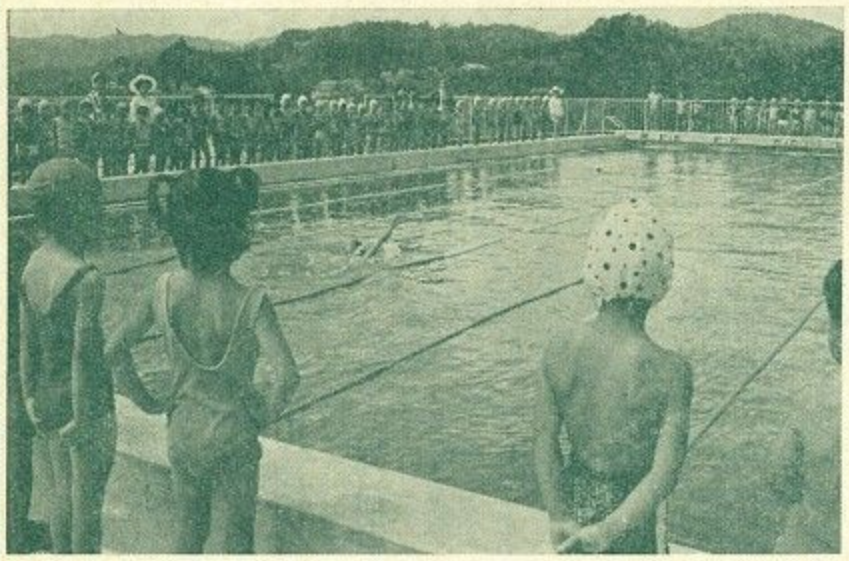
ことし四月開校、鶴舞小学校を借りて勉強していました鶴舞西小学校（橋本龍雄校長）の校舎が、このほど百楽園町に完成し、五百四人の在校児童は二学期から真新しい校舎で、のびのびと勉強できることになりました。

人口増で、ふくれあがる鶴舞小学校から分かれて新設されましたが、校舎新築が間に合わなかったもので、一万八千余平方メートルの敷地に、鉄筋コンクリート四階建て、延べ二千七百六十平方メートルの校舎が完成しました。一階は校長室、職員室のほか放送室、印刷室、休養室、管理諸室があり、二階から四階にかけて普通教室十四、特別教室（図書室、視聴覚室）二があります。各室とも明るく近代的に設計されています。通学区域は次のとおりです。

学園北一丁目▽学園松ケ丘町▽鶴舞西町▽南登美ケ丘町▽百楽園一～四丁目▽二名町の一部（通称大洞、赤松、新道、新田）

山の子大喜び

柳生・大柳生にプール完成


新設プールで水泳ぎを習う子ら（柳生小で）

待望のプールが大柳生小学校と柳生小・中学校にこのほど完成し、八月十日鍵田市長ら関係者が出席してプール開きが行なわれました。川や池では遊泳を禁じられていた山の児童たちは大よろこびで水しぶきをあげていました。

このプールは二つとも二十五メートル六コースで、柳生の方は小中学校併用で柳生小学校庭に設置されています。いずれもシャワー、洗眼場、消毒そうなど設備は十分。鍵田市長は「奈良市のめざす健康な明るいまちづくりの基礎をこのプールでつちかってください。足の太いたくましい子どもになってください」と励ましのあいさつをしました。

「老春手帳」贈る

新に一、二二九人へ

鍵田市長から老春手帳をもらう老人たち

老人福祉の充実をめざし、市が優遇のために発行している「老春手帳」は、ことし二回目の交付を八月五日老春の家で行ない、鍵田市長から各地区代表者へ贈りました。昨年は八十五歳以上五百八十一人でしたが、ことしは年齢を下げて八十歳以上としたため、千二百二十九人と倍以上になりました。これで全市に千八百十人が「老春手帳」を持って優遇されることになったわけです。

この手帳によって、市内の浴場、映画館、市内バスの利用は無料、各社寺の拝観、大和文華館、国立博物館も無料となっています。鍵田市長は「この手帳を胸にかけて、どこへでも気楽に出かけてください。お年寄りは市の宝です。このほかに老人医療の無料化など、奈良に住んでよかったなあと皆さんに思っていただけるよう努力します」とあいさつしました。

市人事異動つづき

【課長級】建設局庶務課長仲野重信（観光商工課長）▽教育委員会事務局学校教育課長豊田繁信（文書課長）▽同総務課長今西篤三郎（教委主幹）▽同社会教育課長北尾義夫（広報課長補佐）▽同保健体育課長大西利明（教委主幹）▽水道局西部営業所長川端俊夫（建設局主幹）▽西部出張所長杉原松二郎（総務部主幹）水道局総務課長駿河武（水道局主幹）▽同経理課長多口正一（水道局西部営業所長）▽市長公室主幹柳好知（社会労働課長）▽同林一臣（教委学校教育課長）▽電話サービスセンター所長杉本光弘（財政課長補佐）▽教育委員会事務局主幹辻井幸男（観光商工課長補佐）▽建設局主幹和田磯二郎（農林課長）

【課長補佐級】秘書課長補佐松本好司（秘書課渉外儀典係長）▽広報公聴課長補佐中川正三郎（人事課人事係長）▽公害交通課長補佐多郷清一（出納室長補佐）▽財政課長補佐藤井重男（市民税課長補佐）▽電子計算室次長八田三雄（電子計算室主任）▽東部出張所長坂本輝治（下水道課管理係長）▽西部出張所次長染井三男（東部出張所長）▽市民税課長補佐松田清（企画課企画第二係長）▽収税課長補佐松田長昌（公害交通課長補佐）▽援護年金課長補佐中西英夫（収税課長補佐）▽同和対策室長補佐藤田正治（清掃事務所次長）▽清掃事務所次長山田千代治（援護年金課長補佐）▽観光商工課長補佐油谷順司（観光商工課競輪係長）▽農林課長補佐松井一知（都市計画課管理係長）▽下水道課長補佐山口芳夫（社会労働課社会係長）▽出納室長補佐吉川昭美（出納室審査係長）▽教育委員会事務局総務課長補佐安達博一（教委学校教育課長補佐）▽同学校教育課長補佐松本和義（教委学校教育課学事係長）▽同社会教育課長補佐吉田定男（教委社会教育課青少年児童会館々長）▽水道局工務課長補佐竹内正夫（工務課工務第一係長）＝八月六日付

市民大学

「進歩」をテーマに 来月七日から四日間

住みよいゆたかな郷土を築くためには、郷土の政治をよりよいものにしなければならない。そのためには選挙権を持つ人たちが政治への正しい理解と認識を持って、正しい選挙を実現することが第一歩です。民主政治の基本は選挙にあることを強調して、奈良市選挙管理委員会が毎年開いている市民大学は、ことし第三回を迎え、きたる九月七日から県文化会館で四日間開講します。「知識」「自覚」「進歩」を三本の柱に市民の政治講座としてユニークな講義を開いてきましたが、ことしは焦点を「進歩」にしぼって、つぎのような日程でひらきます。各日とも午後六時から九時まで。

奈良市在住・在勤の二十歳以上の方ならだれでも受講できます。受講申込み書は、市選管事務局ほか市役所窓口・各出張所・連絡所にありますから申し込んでください。先着三百人で、修了者には修了証書をお渡しします。（以下敬称略）

◇九月七日（火）開講式
「奈良市の発展とその課題」奈良市長鍵田忠三郎▽「国際政局とその波紋」読売新聞論説委員会副委員長関原利夫

◇九月十四日（火）
「女の名前の歴史が秘めるもの」京都府立大学教授寿岳章子▽「奈良の水・近畿の水」奈良女子大学教授津田松苗

◇九月二十日（月）
「自然と人生―古都における放浪の画家山下清」奈良教育大学教授寺尾勇▽「古代の婚姻―記・紀・万葉から見た」大阪市立大学教授直木孝次郎

◇九月二十八日（火）
「現代社会と表現の自由」京都大学助教授佐藤幸治
修了式

8月31日 市・県民税（第2期分）の納期限です

納税はあなたもできる町づくり

星空仰ぎ 大演奏会

▽▽・▽▽・▽▽　△△・△△・△△

28日・吹奏楽のゆうべ

夏の夜の星空をあおいで、美しい音楽演奏会をきき、青少年に情操を高めてもらうため市教育委員会と県吹奏楽連盟で、ことし初めての「青少年星空のつどい―吹奏楽の夕べ」を計画しています。この催しは市青年団体会議、市青少年指導員会、市青少年児童会館運営協力委員会が主管するもので、八月二十八日午後七時から奈良公園国立博物館西広場を会場に、市内青少年を中心に多くの市民を集めて盛大に開こうとするもの。

参加の演奏団体はボーイスカウト・ガールスカウトの鼓笛隊、一条・奈商・育英の各高校ブラスバンド、奈良吹奏楽団、県警音楽隊、ドリームランド音楽隊など二百五十人の予定です。

まず午後五時、国鉄奈良駅前から演奏パレードを始め、県警音楽隊を先頭にボーイスカウト、ガールスカウトの各鼓笛隊が三条通りを会場へ演奏行進、市内の青少年サークル（約三十団体、百余人の予定）がパレードに参加します。これが終って、午後七時に打上げ花火を合図に野外演奏会に移り、高校合同ブラスバンドの演奏会、ドリームランド音楽隊の演奏、歌唱指導、県警音楽隊、奈良吹奏楽団とつぎつぎ演奏があって、最後に全参加楽団の合同演奏があって八時半ごろ大会を終る予定です。

これを皮切りに、主催者側では毎年定期に演奏会を催し市青少年の一つのお祭りとして発展させていきたいと意気ごんでいます。

鍵田市長も指導してみそ料理の講習にはげむ

大々的に講習会

みそづくり

主婦仲間に人気上々

昨年からはじめた奈良市の〝みそづくり〟は、たちまち有名になり、いまや団地婦人の間に大人気。まじりけのない自然食という触れ込みがきいたようで、余ったお米を利用し、自分の家の好みに合った味に仕上げられるという魅力がもてたようです。

市農林課では、昨年市内六会場でみそのつくり方とみそ料理の講習会を開いて人気があったので、ことしは五十会場千人を目標に講習会を計画し、西部公民館の完成を契機に八月五日西部地区初の講習会をここで開きました。集まったのは、この地区の婦人リーダー約二十人。

最近新調の一斗（十八リットル）入り圧力ガマ四基、ミキサー、ざるなどまでそなえて一きわ力を入れています。米のとぎ方からたき方、大豆の煮方、こうじの扱い方、混ぜ方、寝かせ方と懇切ていねいな指導。鍵田市長もまじってみそ料理の調理法まで披露しました。化学調味料や防腐剤を使わず、市価よりも安上がりでうまい――ということがミソとあって、主婦には人気があります。

二十人単位のグループで希望があれば、こうした講習会をいつでも開きます。十二キロのみそづくりに必要な材料費は一人二千円余り。うち五百円を市から補助します。こうして醸造した自家製のみそは、半年すればおいしく熟成し、食卓をゆたかにします。

助産費1万円

9月から増額

国民健康保険

九月一日から奈良市の国民健康保険被保険者の助産費給付が一万円に増額されます。これは現在二千円ですが、市条例を改正して増額となったもので、八月三十一日までの出生が九月一日以降に届けられた場合は適用されません。

給付の申請用紙は、市市民課、各出張所の窓口に用意してありますから、出生届と同時に手続きをとってください。保険証をお忘れなく。

納期は今月末まで

受益者負担金第一期分

下水道

奈良市が国際文化観光都市にふさわしい文化的健康都市づくりの一環として、公共下水道を一日も早く仕上げるため、昨年から下水道事業受益者負担金制度を採用し、今年から受益者の皆さんに負担金を納めてもらうことになったのはすでにご承知のとおりです。この負担金は一年三回に分け、三年間に完納してもらうことになっていますが、その第一期分の納期が八月二日から同三十一日となっています。

負担金の納付書は、すでに受益者の皆さんへそれぞれお送りしていますので、かならず納期内におさめてください。納付場所は市役所本庁または各出張所・連絡所のほかつぎの金融機関となっています。

南都銀行本支店・協和・三和・住友・日本勧業・近畿相互・京都相互・幸福相互・第三相互・中京相互各銀行奈良支店・奈良市信用金庫本支店・郡山信用金庫学園前支店・三栄相互銀行・商工組合中央金庫

▽大阪・京都両府下の銀行本支店＝協和・住友・大和日本勧業・三井・三和・三菱・京都・神戸

福祉資金貸出し始まる

身体障害者へ 市の新制度

奈良市に、こんど身体障害者福祉資金貸付制度ができました。これは、去る六月の定例市議会で可決された条例によって施行されるもので、その貸出し事務が始まりました。市内に六カ月以上居住する身体障害者で、経済的に自立しようとするときの資金とか就職、結婚などにお金がいるときは、市福祉課福祉第二係（電話㉔一一一一番）へ申しこんでください。

これら福祉資金の貸付利息は、いずれも年三%で、六カ月据えおいて、あと三十カ月の月賦による元利均等償還になっています。

【生業資金】生業を営んでいるとか、これから営もうとするとき、必要とする資金で、三十万円まで。

【仕度資金】就職や結婚に必要な資金で、十万円まで。

天理よろづ相談所病院も協力

奈良市の老人医療無料化に

奈良市が七月から実施している老人（七十五歳以上）の医療費無料化の助成制度に対し天理よろづ相談所病院も協力してもらえることになり、八月から奈良市内の医療機関と同じように助成制度による診療をします。近くの人には非常に便利になります。

家庭奉仕員をどうぞ！

重度身障者などのお世話に

重度身体障害者とか精神薄弱者のおられる家庭で、どうしても介護に手が回らぬという事情のある方は、市の家庭奉仕員（ホームヘルパー）をご利用ください。

奈良市には、いまホームヘルパーが十一人いますが、そのうち四人がこれらの家庭の担当として待機しています。ホームヘルパーは弁当持参で大体朝九時ごろから夕四時半ごろまで、これらお気の毒な方の身の回りの世話からせんたくなどまで、無料で奉仕します。家庭的に、また経済的に余裕のある方なら別ですがどうしても人手に頼らねばならぬという家庭の方は、地もと民生委員か市福祉課（電話㉔一一一一番）へご相談ください。

人・権・相・談・所

西部出張所でもひらく

毎週金曜日に市役所（市庁別館内）で開設している人権相談は評判がよく、相談にくる人もだんだんふえていますが、こんど新設開館の西部公民館内の西部出張所（市内学園北二丁目）にも人権相談所を開設することになりました。両相談所の相談員はつぎの皆さんです。（時間はいずれも午前九時～午後四時。敬称略）

【市役所内】

・第一金曜日＝赤堀綾子・片寄秀・法務局人権擁護課員
・第二金曜日＝狭川明俊
・第三金曜日＝荒木武男・島田米造
・第四金曜日＝石原フジ
・第五金曜日＝法務局人権擁護課員

【西部出張所】

・第一金曜日＝武村常太郎・法務局人権擁護課長（第四金曜日まで毎週）
・第二金曜日＝東雲茂男
・第三金曜日＝上田政治
・第四金曜日＝植松宗平
・第五金曜日＝法務局人権擁護課員

新自治会長

8月2日現在

（敬称略）

【町内自治会長】下狭川中町＝高城孝九▽下狭川奥町＝西田要

柳生へ歩こう

来月五日、県で催す

たくましいからだの持ち主になり、精神的にもゆとりを持ったバイタリティーの人になりましょう――と県教委・県体力つくり運動推進協議会が第三回「歩こう県民のつどい」をつぎのとおり催します。

こんどは、いまテレビドラマ「春の坂道」で脚光を浴びている柳生の里を歩き、郷土の歴史の香を吸うてこようとの試み。県民ならだれでも参加できます。

とき＝九月五日（日）午前九時三十分県庁前集合、小雨決行▽指導者＝郷土史家松井喜三氏▽参加費＝無料（ただし柳生からの帰りバス代は個人負担）▽申し込み＝住所・氏名・年齢を書いて県教育委員会保健体育課（市内登大路町）へ。

老春の家 趣味の作品展

お年寄りが日常趣味としてつくっている労作を展示する市社会福祉協議会主催の「老人趣味の作品展」が、九月十四日から二十日まで、つぎの要領により「老春の家」でひらかれます。市内在住の六十五歳以上の方ならどなたでも出品できます。

▽作品の種類＝写真・彫刻・書画・陶器類（楽焼に類するもの）・手芸品（刺しゅう、編物、壁掛け、クッション、木工、ワラ工品）などで、いずれも自作のものに限る。なるべく奈良にちなんだ作品が望ましい。

▽搬入＝九月八日から十日までに「老春の家」へ。

▽その他＝優秀作は老人福祉大会で表彰します。

アンマなど奉仕

来月十日65歳以上の老人に

九月は敬老月間になっています。市視力障害者協会（北森重信会長）の好意で、ことしも同協会員の人たちによるアンマ・マッサージの一日奉仕があります。

市内在住の六十五歳以上のお年寄りが対象になっています。アンマ・マッサージの施療を受けたい方ははがきに住所・氏名・年齢を書いて八月三十一日までに市福祉課第二係まで申し込んでください。

▽日時＝九月十日（金）午前十時から。

▽場所＝老春の家（近鉄奈良駅行基噴水前～老春の家バスで送迎）

▽定員＝先着二百人（本人あて通知）

浪曲をたのしもう

老春の家

「老春の家」では、お年寄りに浪曲を楽しんでもらおうと〝素人浪曲のつどい〟をつぎの要領で催します。市内在住の六十歳以上の方はさそい合わせておいでください。入場は無料です。まっ茶のサービスもあります。

▽とき＝八月二十九日（日）午後一時から

▽ところ＝「老春の家」二階大集会室